

# 未来ミーティング 「若い世代の定住定着・呼び込み」

阪神新地域ビジョンの策定に係る未来ミーティング  
提言資料

---

2021/03/24



# メンバー構成

---

金融業 男性

デザイナー 男性

主婦 女性

情報通信業 男性

製造業 男性

計5名

# 目次

---

1.背景と現状認識

2.現状深掘り・課題設定

3.提言方針の設定

4.将来像の提言

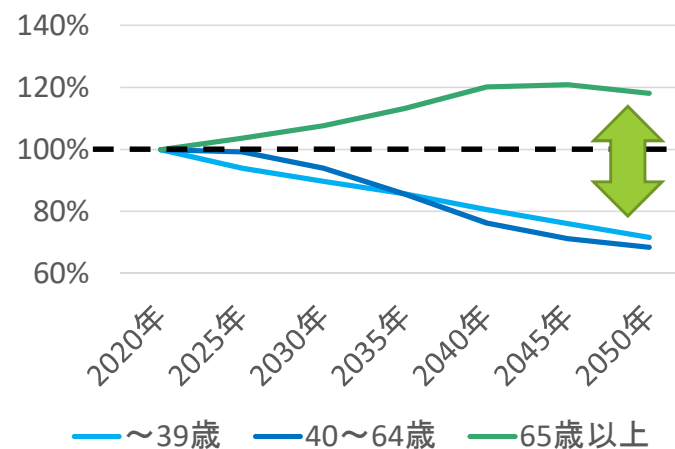
# 1.背景と現状認識

## ■背景

- ・阪神地域では今後、65歳以上の高齢世代人口が今後増加し続ける一方で65歳未満の子ども&労働世代が2050年まで減少
- ⇒2050年の魅力的な阪神地域を描くため、「若い世代の定住定着・呼び込み」を目的に設定し提言作成

## ■現状認識

- ・若い世代に人気だが、子育てや鉄道空白地帯の移動手段など日常生活に不便を感じることもある
- ・働き手の世代の多くは神戸や大阪に通勤
- これらのポイントを暮らし、働きやすさの2観点から深掘り



図：兵庫県の人口推移\*1

\*1 兵庫県ホームページ「兵庫県将来推計人口（2015～65年）」より

## 2.現状深掘り・課題設定

---

### ①暮らし

- ・地縁のない夫婦が阪神間で生活、子育てしようとした際、急なトラブルで頼れるネットワークがない。  
親の介護も不安。

具体的には・・・

- ・既存世代と年齢差がありつきあいに入れにくい、多忙の中自治会のメリットが不明で入りづらい  
→**既存コミュニティに入りづらい、同世代の知り合いがいない**
- ・阪神北地域は特に交通が不便で買い物にも車必須  
阪神南地域も坂が多く、車なしでの子育ては中心地の平地以外は厳しい  
→(地域によっては)**車を所持していない/すぐ買うお金がない＝転入できないという障壁**

### ②働きやすさ

- ・阪神間に働く、遊ぶ場所が少なく、大阪にそれらの機能を依存している
- ・働く場所がなく、昼間人口の高齢者比率増加が想定される  
→地域内で飲食や遊興にお金が落ちなくなってゆく

具体的には・・・

- ・単純労働は阪神地域南に、住宅街は阪神地域中～北というイメージが強い
- ・企画、設計型の仕事やスタートアップベンチャーなどは**特に阪神間の求人が目に入らない**
- ・保育所不足で**子供を預けて仕事に専念できる環境が不足**

※赤字：実際にメンバーから意見が出た阪神地域での暮らしづらさ

## 3.提言方針の設定

### ①暮らし

- ・子育て、介護

若者自身の共助を主軸に検討

特に地縁のない家庭にとってはトラブル時に頼れるネットワーク構築が必要。

→**若者同士が繋がれる地域の共助網構築**を検討

- ・交通

行政の支援、制度構築を主軸に検討

阪神北地域を始めとした交通が不便な地域では大人の人数分の車がないと生活できない  
バスの本数も若者の減少に合わせて減っている

→**最新技術&シェアリングエコノミーを活用した交通過疎解消**

### ②働きやすさ

- ・阪神地域への人材呼び込み

民間リソースの活用を主軸に検討

副業の一般化も視野に**求人地域情報集約、在阪神企業間の人材交流**を促進

- ・保育リソース拡充と技術発展

行政の支援、制度構築を主軸に検討

A/Iなど**最新技術を活用した保育効率化のモデル**都市として発展

## 4. 将来像の提言

---

### 阪神地域の将来像

- 阪神北地域(山間部/鉄道沿線)
- 阪神南地域

### 個別課題に対する将来像

- 若者同士が繋がれる地域の共助網構築
- 最新技術&シェアリングエコノミーを活用した交通過疎解消
- 求人の地域情報集約、在阪神企業間の人材交流
- 最新技術を活用した保育効率化のモデル都市

# 阪神北地域の将来像

## 課題

### 【山間部】

- ・既存コミュニティに入りづらい  
(ex:自治会)

### 【鉄道沿線】

- ・オールドニュータウン化による  
**交通等インフラの崩壊危機**

### 【共通】

- ・車を所持できない=転入できない  
→交通の将来像で提案

## コンセプト

### 【休日の若者呼込】

- ・都会から休日に  
「帰ってくる」

### 【ニュータウン再生】

- ・都会よりも  
安価・広いを月額で

### 【共助の負荷分散】

- ・家が遠い人とも共助
- ・依頼側・提供側とも  
気軽に共助

## 実現イメージ

- ・古民家のコテージ化/民泊整備
- ・会員には地域の設備優待、  
地場野菜の割安通販=**おすそ分け**

- ・リフォーム戸建を賃貸し転入推進  
★もう一歩行政で推進するなら↓
- ・賃貸時の**固定資産税優遇**など

- ・ITを活用し**共助を斡旋**  
(例：買い物の手伝い/通学・通院送迎)
- ・共助に参加した人に**自治会から  
ルール下の報酬**(モノも想定)



# 阪神南地域の将来像

## 課題

- ・子供を預けられない/  
頼れる人がいない
- ・仕事といえば「大阪、神戸」
- ・人口減少、高齢化

## コンセプト

【住みやすさピカイチ】  
・便利 & 地域が頼りになる、  
あらする世代が住みたいまち

【働く人応援】  
・副業時代でも働きやすい、  
スキルを伸ばせるまち

【新しい観光創造】  
・他地域に先駆けた  
観光開発

## 実現イメージ

・どこに移動するにも困らない交通網  
・地域にすぐにとけこめる共助網  
(詳細後述)

・FA(自動化機器)やIT環境が地域の企業に完備。住民は**研究職や基幹システム開発まで在宅勤務**。  
・地域間で副業を見つけやすく & スキルを伸ばしやすく(詳細後述)

・他地域にしながら阪神間**観光(VR)、来訪者への拡張現実観光/ゲーム提供(AR)**  
・最新技術で酒蔵、甲子園などを**五感で全国に発信**

# 若者同士が繋がれる地域の共助網構築

## 2021年（現在）

住む場所として人気だが…

（課題）

•若者（一人暮らしや子育てスタート世代）の地域とのつながりが希薄

•→若者の孤立

•→既存コミュニティの

• 高齢化

• （特に阪神北地域）



## 2030～2040年代

•若者・子育て世代×地域

•ニューノーマルなコミュニティ

•ボランティアマッチングにより  
繋がりを後押し

•地域(ex：自治会)が善意に  
対して報酬を出すことで頼り/頼られやすく

•→地域に若者が不可欠に

•→地域×若者の

• 助け合いを後押し



## 2050年の将来像

地域のファミリー、若者、高齢者  
までほどよく繋がれる次世代の  
地域像

◆若者と地域が繋がる

◆子育てを楽しみつつ、  
息も付ける

◆高齢者も地域と繋がる

どんな世代も地域の日常を楽しめる阪神地域！

# 最新技術&シェアリングエコノミーを活用した交通過疎解消

## 課題

- ・**公共交通空白/撤退**  
(要因：人口過疎、自然地形)
- ・自家用車による**移動の機会不平等**  
(維持費、運転技能)
- ・自家用車の**リスク**  
(交通事故、渋滞、環境汚染)

## コンセプト

### 【持続可能な交通網】

- ・世代、地域を問わず  
柔軟・簡単に移動

### 【移動コスト抑制】

- ・安価に移動

### 【人・自然に優しい】

- ・安全、エコ技術活用

## 実現イメージ

- ・地区内に自動運転車拠点から、**ボタン1つで共用の自動運転車が迎え**に来る

- ・自治会や農作業施設などに**カーシェア**設置 & **住民間の乗り合い料金**設定
- ・**貨客混載バス**の推進(通勤通学、物流、観光のリソース共有)

- ・移動手段以外の**付加価値車**  
(ex: 休息場所、話し相手)
- ★もう一歩行政で推進するなら↓
- ・**自動運転レベル5**の補助、規制緩和
- ・**水素/電気自動車**などインフラ整備

# 求人地域情報集約、在阪神企業間の人材交流

## 現状課題

- ・阪神間に働く場所が少ない  
(大阪、神戸へ労働力流出)
- ・企画、設計型の仕事やスタートアップベンチャーなどは特に阪神間の求人が目に入らない

## 将来像

教育都市、工業都市としてのメリットを活かし域内企業を強化

【地域軸求人】  
地域内で働きたい！  
を実現

【産学連携】  
充実した教育機関と  
シナジー効果で  
住民のキャリアアップ

【域内企業の強化】  
地域内の企業同士  
が高めあうまち

### 2030年代

地域内通勤者、居住者をターゲットとした求人公開強化(県内)

### 2030年代

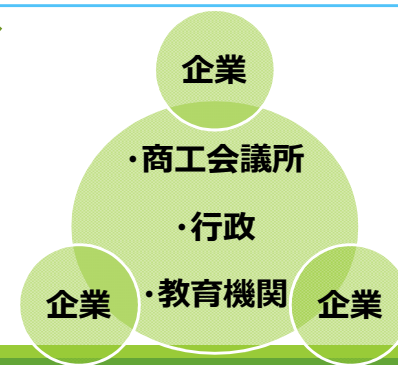
- ・隣接地域も含め教育機関と共同研究や採用連携
- ・副業、セカンドキャリアに向けた自己研鑽を地域内教育機関で受け入れ

### 2030年代

ジョブ型雇用取入/域内企業同士の副業人材交流を商工会議所などがバックアップ。副業普及社会での成長を後押し。

### 2040年代

- ・仕事を探しやすい
  - ・住民個々の得意分野を伸ばしやすい
  - ・副業によるリソース活用が簡単
- なまちのため「商工会議所」「行政」「教育機関」が連携



# 最新技術を活用した保育効率化のモデル都市

## 2021年（現在）

保育をする人も願う人も  
子育てしづらい環境

- ・子どもと触れ合うことに専念しづらい
- ・仕事と子育てを両立しづらい
- ・いざというときの不安
- ・地域で子育てではなく、  
当事者だけに負担が掛かる現状



## 2030～2040年代

- ・バーチャルとリアルの両輪で
- ・保育に関わる人、家庭内両方の
- ・子育てカイゼン
  
- ・保育士さんの業務負担をITで軽減する仕組みづくり
- ・いざというとき安心して子どもを預けられるシステム
- ・保育園で預かれない時も、適切な場所をマッチングするシステム
- ・子どもと地域の人を趣味などをトリガーに結び付ける



## 2050年の将来像

子育て先進地域・阪神地域

地域みんなが当事者意識を持ち、  
子育てできる地域へ

---

以下補足

# 3.提言方針

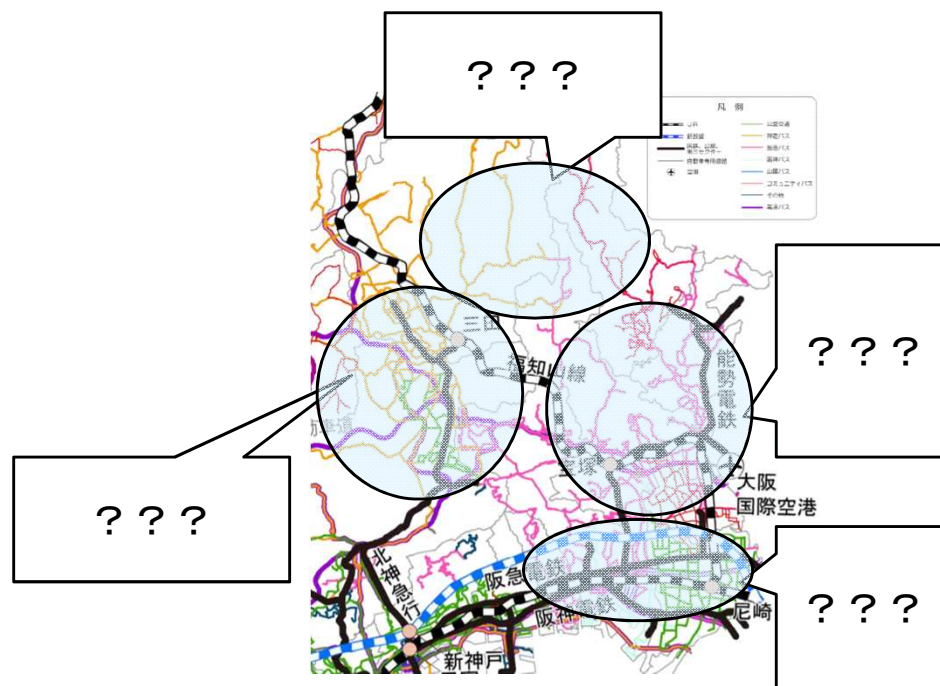
## ③今後の進め方

### ・現在候補となっている提言の深掘り

①暮らし、②働きやすさの2つの観点の提言について内容を充実化

### ・2050年の地域のあるべき姿を提言に反映

我々の目線から見た阪神間各地域の  
いいところ、これから伸ばしてほしいところから、  
「2050年にこうなっていてほしい」  
阪神地域をイメージしながら  
提言を充実化



図：地域のあるべき姿イメージ\*2

\*2 兵庫県ホームページ「ひょうご公共交通10カ年計画(地域計画阪神地域版)」よりイラスト引用

# 提言のイメージ

		活動主体	現状	～2030年	～2040年	2050年の将来像
阪神地域のあるべき姿						
	阪神北地域(山間部)	行政		若い世代の呼び込み、定住:広い家に住みたい、スローライフを都会の近くで実現。休みの日は来る:別荘的な。週末シェアハウス:保養所。		世代間のバランスがいい 移動手段の固定費、事故の不安がない
	阪神北地域(鉄道沿線)					
	阪神南地域(JR以北)			【AI化】スーパー・コンビニのレジの無人化 【テレワークの完全浸透】ZOOM等で住む地域も自由に選べるようになり、阪神地域も人が増える 【観光地の普及】テレワークにより都会に行く必要がなくなったため、阪神地域でも新しい観光地を建造		世代間のバランスがいい 移動手段の固定費、事故の不安ない
	阪神南地域(JR以南)					
改善の深堀						
	<b>若者同士が繋がれる地域の共助網構築</b>	若者自身の共助	自治会消防団は高齢化、育児世代孤立	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会組織の多チャンネル化、普段の集まり、付き合いは世代や趣味で分けてコストかかる場所は共有。</li> <li>自治会苦手な人は・・・?あるべき付き合い、義務行事が優先される旧来の自治会を変える?</li> </ul>		仕事の合間に自治会をできる、近所の人の子育てを補助+単身世帯の地域参加 近所に知り合い
	<b>交通過疎地域での自動運転&amp;乗り捨て型カーシェア普及</b>	行政の支援、制度構築	自動運転×カーシェア△	自動運転レベル4以上。自動運転使いこなす住民が増える。水素自動車、高速充電の普及。地域で移動手段のインフラ確保?		手を動かさなくても移動できる・低コスト
	<b>求人地域情報集約、在阪神企業間の人材交流</b>	民間リソースの活用	技能軸はあっても地域軸はなし	A/Iが発展。横並びで経営陣が考えを変える。地域内の待遇、条件を可視化。企業の労働観底上げ。働く側の技能アピール、習得。		一つの会社に所属しない =全員フリーランス 特技に応じてA/Iが仕事を割り振る
	<b>最新技術を活用した保育効率化のモデル都市</b>	行政の支援、制度構築	人出依存	保育士さんが子供を見る時間が足りてる→事務作業しなくていい、定時外は地域リソースとマッチング →信頼できる人をつなぐ、可視化		子供に目を向けるのは人



# 阪神北地域の将来像

## 現状課題

- ・既存世代と年齢差がありつきあいに入れない、多忙の中自治会のメリットが不明で入りづらい、同世代の知り合いがない
- ・阪神北地域は特に交通が不便で買い物にも車必須→車を所持していない/すぐ買うお金がない=転入できないという障壁
- ・(2/7兵庫県の方コメント)山間部の過疎化以外でも、北地域のニュータウンは高齢化が進行し、オールドニュータウン化が進行。今後交通インフラ(バス)の維持などに問題が出る可能性あり。

## 将来像

【山間部へ若者呼込】  
休日は自然の中でスローライフを楽しむ  
様々な世代が溢れる

【ニュータウン再生】  
都会では味わえない静かな住環境を楽しむ人々が積極的に転入

【交通手段の確保】  
世代を問わず、自動車を持たなくとも日常生活に困らず移動できる

【共助の負荷分散】  
おつかい、おすそ分けをリソースにコミュニティが「お礼」することで物流機能維持や物々交換の推進

### 2030年代

古民家のコテージ化や農作業体験/新鮮な食材を楽しむ民泊などを整備。リピーター確保に向け、無料ファンクラブや月額会員組織(民泊、コテージ優待以外にも地場野菜の割安通販="おすそ分け"を都会に贈る)のような外部コミュニティで都会との繋がりをつくる。

### P10に移動

リフォームした住宅の賃貸(都会よりも安価・広い)により転入推進。もう一歩行政で推進するなら賃貸時の固定資産税優遇など実施。

### 2030年代

自治会や農作業施設などにカーシェア設置&住民間の乗り合い料金設定

### 2040年代

地区内に自動運転車の拠点を複数設置し、ボタン1つで共用の自動運転車が迎えに来る

### 2030年代

自治会による共助の「マッチング」「お礼」システムを導入し、ITを活用して共助を斡旋。共助に参加した人に自治会からルール下の報酬(モノも想定)を提供することで依頼側・提供側ともに気軽に共助を活用し、少し遠い人とも地域内の関りを生み出す。

# 阪神南地域の将来像

将来像  
年齢層がバランスよくいる  
(子供からお年寄りまで)

現状課題

若者の都会への流出  
人口減少

年齢層がバランスよく深堀

双方向観光 深堀

Do~2030

【AI化】

・スーパー・コンビニのレジの無人化

【テレワークの完全浸透】

・ZOOM等で住む地域も自由に選べる

【観光地の普及】

・テレワークにより都会に行く必要がなくなったため、阪神地域でも新しい観光地を建造

Do~2040

【観光地の更なる普及】

・VR(仮想現実)スポット

・AR(拡張現実)スポット

→近代技術で外でゲームも楽しめるようになる(ポケモンGOのような)

【自動運転】【AI化】

・配達無人化

・完全自動運転の普及

→田舎でも簡単に住め、人も増えやすく

# 自動運転の普及

## 現状課題

- ・若者の車離れ
- ・維持費・交通事故への懸念
- ・車がなくても電車バスで移動は可能

## P9移植

## 公共交通混載 追記

## DO~2030

- ・自動運転レベル4※<sup>1</sup>  
→若者が楽に利用できるように
- ・水素、電気で楽に安く運転できるようになる。

## Do~2040

- ・自動運転レベル5※<sup>2</sup>  
→若者はもちろん高齢者も楽に利用できるようになる。
- ・AIの技術向上により車が話し相手にもなる。
- ・乗り捨て型カーシェアの普及。そして、無人車のままスマホで特定の場所に呼び出せるため、タクシーの代わりにもなる

将来像(2050)  
老若男女、低コストで、より快適に車を活用できる。  
生活の一部として利用可能

※<sup>1</sup>レベル4は「高度自動運転」と呼ばれるもので、高速道路など特定の場所に限りシステムが全ての運転を行うことが可能なものです。緊急時の対応も、認められた場所内であればクルマのシステムが行います。おそらく、自動運転中でも「ながらスマホ」や仮眠、映画鑑賞などがOKになる

※<sup>2</sup>レベル5は「完全運転自動化」と呼ばれ、無免許で運転できるようになる。

# 求人地域情報集約、在阪神企業間の人材交流の将来像

教育都市、工業都市としてのメリットを活かし域内企業を強化

## 現状課題

- ・阪神間に働く、遊ぶ場所が少なく、大阪にそれらの機能を依存している
- ・働く場所がなく、昼間人口の高齢者比率増加が想定される
- ・単純労働は阪神地域南に、住宅街は阪神地域中～北というイメージが強い
- ・企画、設計型の仕事やスタートアップベンチャーなどは特に阪神間の求人が目に入らない
- ・保育所不足で子供を預けて仕事に専念できる環境が不足

## 将来像

【地域軸求人】  
地域内で働きたい！  
を実現

【産学連携】  
充実した教育機関と  
シナジー効果創出

【域内企業の強化】  
地域内の企業同士  
が高めあうまち

### 2030年代

地域内通勤者、居住者をターゲットとした求人公開強化(県内)

### 2030年代

- ・隣接地域も含め教育機関と共同研究や採用連携
- ・副業、セカンドキャリアに向けた自己研鑽を地域内教育機関で受け入れ

### 2030年代

ジョブ型雇用取入/域内企業同士の副業人材交流を商工会議所などがバックアップ。副業普及社会での成長を後押し。

### 2040年代

- ・仕事を探しやすい
  - ・住民個々の得意分野を伸ばしやすい
  - ・副業によるリソース活用が簡単
- なまちのため「商工会議所」「行政」「教育機関」が連携



# 最新技術を活用した保育効率化のモデル都市

## 2021年（現在）

保育をする人も願う人も  
子育てしづらい環境

- ・子どもと触れ合うことに専念しづらい
- ・仕事と子育てを両立しづらい
- ・いざというときの不安
- ・地域で子育てではなく、  
当事者だけに負担が掛かる現状

## 2030～2040年代

- ・バーチャルとリアルの両輪で
- ・保育に関わる人、家庭内両方の
- ・子育てカイゼン
  
- ・保育士さんの業務負担をITで軽減する仕組みづくり
- ・いざというとき安心して子どもを預けられるシステム
- ・保育園で預かれない時も、適切な場所をマッチングするシステム
- ・子どもと地域の人を趣味、得意分野のレクチャーなどをトリガーに結び付ける

## 2050年の将来像

子育て先進地域・阪神地域

地域みんなが当事者意識を持ち、  
子育てできる地域へ

## 課題軸で考える。

### ◆保育をする人が子どもと触れ合うことに専念できるように◆

◎子どもと関わる以外の業務（事務作業など）を軽減

- ・ 保育園、幼稚園、学童保育などに特化したパッケージソフトを普及させ、先生方の事務作業の負担を軽減
- ・ 個々の園によりイレギュラーな業務には、パッケージソフトウェアのカスタマイズで対応（パッケージソフトの機能を損なわない程度に）

## 課題軸で考える。

### ◆仕事と子育てを両立できるように◆

◎いざというとき安心して子どもを預けられるシステム

- ・安心して子どもを預けたり、預かったりできるマッチングサービス  
(詳細は要検討)
- ・ユーザーを増やすことで子どもとの相性、安心度を加味したマッチングを可能とする

## 課題軸で考える。

### ◆いざというときも安心◆

◎保育園で預かれない時も、適切な場所をマッチングするシステム

- ・保護者があらかじめチェックを付けたところに、チェックした人が送迎することを可能とする



プラスでできること。

### ◆子どもを地域で育てていく◆

◎子どもと地域の人を趣味などをトリガーに結び付ける

- ・子どもは色々な物事に触れることで学べ、地域の方は趣味などを通じて子どもに触れ合うことで生きがいとなる

# 若者同士が繋がれる地域の共助網構築

## 2021年（現在）

住む場所として人気だが…

（課題）

•若者（一人暮らしや子育てスタート世代）の地域とのつながりが希薄

•→若者の孤立

•→既存コミュニティの

• 高齢化

• （特に阪神北地域）



## 2030～2040年代

•若者・子育て世代×地域

•ニューノーマルなコミュニティ

•ボランティアマッチングにより  
繋がりを後押し

•地域(ex：自治会)が善意に  
対して報酬を出すことで頼り/頼られやすく

•→地域に若者が不可欠に

•→地域×若者の

• 助け合いを後押し



## 2050年の将来像

地域のファミリー、若者、高齢者  
までほどよく繋がれる次世代の  
地域像

◆若者と地域が繋がる

◆子育てを楽しみつつ、  
息も付ける

◆高齢者も地域と繋がる

どんな世代も地域の日常を楽しめる  
阪神地域！

## 課題軸で考える。

---

### ◆若者と地域が繋がれるように◆

◎地域のイベントに若者も参加できるマッチングシステム

- ・気になったイベント（地域の伝統行事から趣味にまつわるものまで）などを選んでお手伝い、イベントなどに参加できるマッチングシステム
- ・休日だけでなく仕事の合間に単発で参加でき、少しは日当が出るのもあり（UberEatsのイベント版）

野地3

野地1

※趣味でつながれるシェアハウスやワンルームマンション（共有部あり）もあり？

**野地1** 大阪や神戸より土地のある阪神地域の特徴も生かせる？  
野地 貴久, 2021/02/14

**野地3** 阪神ファンや地酒好き？  
野地 貴久, 2021/02/14

## 課題軸で考える。

---

### ◆子育て世代が地域になじめるように◆

◎子育てを楽しみつつ、息も付けるシステム

- ・現代に合った子ども会マッチングシステム
- ・子どもも学べる、親も学べる

(昔のように地域や家庭で生活の知恵を学べることをイメージ)

- ・親が地域に参加するのもあり、一息付きたいときに一日預けるのもあり

## 課題軸で考える。

---

### ◆高齢化しても地域と繋がれるように◆

◎IT化しつつ、リアルのつながりも大切に

- ・ 趣味やイベント等でつながれるマッチングシステム
- ・ 若者や子どもの世話を好きなときに行って、生きがいとなる

※2020年の40歳→70歳、50歳→80歳である程度の方はITに馴染める想定  
(2020年よりデバイスやシステムは使いやすくなっていることも想定)